

新武蔵野クリーンセンター(仮称)整備運営事業に関する運営業務委託に係る
運営モニタリング実施結果について【令和5年度】

1 運営モニタリング実施要領

運営事業者(受託者:株式会社むさしのEサービス)が実施する「新武蔵野クリーンセンター(仮称)整備運営事業(以下「整備運営事業」という。)」に関する施設運営業務について、整備運営事業「要求水準書 第5章施設運営業務 第1節施設運営業務に関する基本的事項 8.市によるモニタリングの実施」及び「運営業務委託契約書 第54条 市のモニタリング」に基づき、要求水準書・運営業務委託で定められた水準が達成されていることを確認する。

2 対象年度

令和5年度

3 運営モニタリングスケジュール及び内容

運営モニタリングは、整備運営事業「要求水準書 第5章施設運営業務 第1節施設運営業務に関する基本的事項 8.市によるモニタリングの実施」に基づき、四半期毎に以下の内容にて実施した。

区分(対象期間)	日時	実施内容
第1四半期 (令和5年4月～6月)	令和5年7月25日(火曜日)	①財務状況モニタリング (経営管理事項)
第2四半期 (令和5年7月～9月)	令和5年10月24日(火曜日)	②施設運営状況モニタリング (施設運営事項) *1 周辺環境モニタリング含む *2 事業者提案イベントなどの 事項は第4四半期に実施
第3四半期 (令和5年10月～12月)	令和6年1月23日(火曜日)	
第4四半期 (令和6年1月～3月)	令和6年3月29日(金曜日)	

4 運営モニタリング実施体制

運営モニタリングは、整備運営事業「運営業務委託契約書 第54条 市のモニタリング」に基づき、第三者機関の支援及び技術的助言を得て、市が実施した。第三者機関に関する詳細事項(業務内容、事業者名など)を以下に示す。

業務内容	第三者機関 事業者名
運営管理モニタリング支援 (モニタリング全般事項)	株式会社日建設計
運営管理モニタリング技術支援 (モニタリング技術的事項)	公益社団法人全国都市清掃会議

5 運営モニタリング実施結果

運営モニタリング実施結果より、要求水準書・運営業務委託で定められた水準が全ての項目で達成されていることを確認した。

運営モニタリング（第1四半期～第4四半期）の実施結果を以下に示す。

5-1 運営モニタリング実施結果一覧（総括）

*モニタリング実施結果判定一覧凡例

- ：整備運営事業の要求水準書・運営業務委託で定められた水準が達成されている。
- △：整備運営事業の要求水準書・運営業務委託で定められた水準が達成されていない事項があり、一部是正処置及び減額処理が必要なもの。
- ×：整備運営事業の要求水準書・運営業務委託で定められた水準が達成されていない。

区分(対象期間)	モニタリング実施内容	モニタリング実施結果判定
第1四半期 (令和5年4月～6月)	■財務状況モニタリング	○
	■施設運営状況モニタリング	○
第2四半期 (令和5年7月～9月)	■財務状況モニタリング	○
	■施設運営状況モニタリング	○
第3四半期 (令和5年10月～12月)	■財務状況モニタリング	○
	■施設運営状況モニタリング	○
第4四半期 (令和6年1月～3月)	■財務状況モニタリング	○
	■施設運営状況モニタリング	○

■施設運営費内訳

整備運営事業「運営業務委託契約書 第73条 施設運営費の支払い及び別紙2 施設運営費の算定方法」による施設運営費内訳を以下に示す。

施設運営用 項目	金額(円/年度) *消費税抜き
固定費 *消費税抜き (運転管理及び維持管理等の施設運営に係る固定的費用)	457,075,000
変動費(運転管理に必要な薬剤等の購入費用) *消費税抜き *小数点以下切捨て(四半期毎にて) *変動費単価：863.42(円/t)	24,091,385 *処理対象物 27,902.28(t/年度)
消費税 *税率 10%	48,116,637
施設運営費 年度合計	529,283,022

■施設運営費の見直し（翌事業年度による）

整備運営事業「運營業務委託契約書 第 74 条 施設運営費の改定方法及び別紙 3 施設運営費の見直し」より、翌事業年度の施設運営費の見直し協議を行い、前回見直し時点(令和 3 年 8 月～令和 4 年 7 月の各月の平均)と令和 5 年度(平成 4 年 8 月から令和 5 年 7 月の平均値)の日本銀行調査統計局企業物価指数(12 ヶ月平均値)の変化率が＋7.91%となり、令和 6 年度の施設運営費(固定費・変動費単価)は見直すものとする

*日本銀行調査統計局企業物価指数(12 ヶ月平均値)の変化率が±3.0%以内の場合には、影響が軽微であるとして、施設運営費の見直しを行わないものとする。

5－2 運営モニタリング実施結果一覧（各四半期毎、業務毎）

＊実施結果一覧凡例

- ：整備運営事業の要求水準書・運營業務委託で定められた水準が達成されている。
 ×：整備運営事業の要求水準書・運營業務委託で定められた水準が達成されていない。
 （水準未達による是正及び減額事項あり）

①財務状況モニタリング結果

番号	業務内容	第 1	第 2	第 3	第 4	備考
1	運営事業者に関する事項	○	○	○	○	要求水準書第 3 章第 1 節 2
2	実施体制に関する事項	○	○	○	○	要求水準書第 3 章第 1 節 3
3	運営事業者の財務に関する事項	○	○	○	○	要求水準書第 3 章第 1 節 4
4	運営事業者の経営等に関する報告	○	○	○	○	要求水準書第 3 章第 2 節 1～7

②施設運営状況モニタリング結果(運転管理業務)

番号	業務内容	第 1	第 2	第 3	第 4	備考
1	処理対象物の適正管理 1) 受入供給設備の運転管理 2) 焼却及び不燃・粗大ごみ処理施設の運転管理 3) 用役管理、発生廃棄物の適正処理、緊急時対応	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 2 節 2
2	有効なエネルギー活用 1) ごみ発電、近隣公共施設への電力及び熱供給、 再生可能エネルギー活用	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 2 節 3
3	プラント設備法定検査の実施 1) 各設備法定検査の実施、記録の適正管理	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 2 節 4
4	運転管理時の計測管理 1) 法・条例等で規定の測定及び計測管理	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 2 節 5 (周辺環境モニタリング含む)

③施設運営状況モニタリング結果(維持管理業務)

番号	業務内容	第 1	第 2	第 3	第 4	備考
1	施設の補修・更新等 1) 維持管理計画の適正な履行 2) 施設の点検・検査の実施(周辺公共施設への電力供給に伴う電気設備含む) 3) 施設の補修・更新の実施	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 3 節 1
2	施設の清掃・樹木等植栽管理 1) 事業範囲内の清掃管理 2) 事業範囲内の樹木等植栽管理	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 3 節 2 ～ 3
3	施設の警備管理 1) 事業範囲内の警備・防犯・誘導員管理	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 3 節 4
4	地元市民等との協働等① 1) 広域支援等の協力(災害廃棄物処理等含む) 2) 住民対応(苦情などの対策など)	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 3 節 5
5	地元市民等との協働等② 1) 見学者の対応(一般見学、団体見学など) 2) 環境学習やワークショップ等のサービス提供(事業者提案イベントなど)	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 3 節 5
6	施設の安全衛生・防災及び情報管理 1) 事業範囲内の作業環境・安全衛生・防災管理 2) 事業範囲内の情報管理(運転管理マニュアル・保全計画維持管理など)	○	○	○	○	要求水準書第 5 章第 3 節 6 ～ 7

※番号 5 2) 環境学習やワークショップ等のサービス提供について

- ・事業者提案イベントは、新型コロナウイルス感染症の感染状況を考慮しながら、通常規模へ戻して開催。

イベント名	開催日時	参加者数	開催内容
エコマルシェ (第 16 回)	令和 5 年 6 月 4 日 (日)	944 名	環境にやさしい暮らしや、ごみ処理などについて、多くの市民の皆さまにお伝えする場づくりを目的に開催。 ■地域のエコなお店による出店 ■えほん・おもちゃのかえっこ ■おもちゃの病院 ■工場棟及びむさしのエコ re ゾートをまわる、なぞときクイズラリー ■施設見学ツアー(プラットホーム等) ■不燃・粗大処理設備の模型体験コーナー ■講師によるワークショップ・作品展示
エコマルシェ (第 17 回)	令和 5 年 11 月 19 日 (日)	1,161 名	
エコマルシェ(第 18 回) 第 32 回武蔵野桜まつりと 同日開催	令和 6 年 3 月 31 日 (日)	5,385 名	

イベント名	開催日時	参加者数	開催内容
屋上ガーデン 収穫体験&観察会（夏）	令和5年7月22日 （土）	15名	屋上のベジタブルガーデンとリサイクルガーデンを活用し、循環型社会での暮らしや地域生態系について、収穫や観察を通して理解してもらう場づくりを目的に開催。
屋上ガーデン 収穫体験&観察会（秋） オープンハーベストと同時開催	令和5年10月22日 （日）	—	■生ごみ堆肥などの取組み紹介、収穫体験 - 講師:クリーンむさしのを推進する会 ■観察会講師、ワークショップの実施:成蹊小学校教諭
夏休み子ども ワークショップ	令和5年8月17日 （木）～20日（日）	467名	身近な廃材を活用した子ども向けワークショップイベントを、夏・冬・春休みに開催し、ごみ減量や3Rの大切さを学んでもらう場づくりを目的に開催。
冬休み子ども ワークショップ	令和5年12月16日 （土）、17日（日）	263名	■講師による廃材ワークショップ - 例:チラシの籠、ハギレをコラージュしたブローチ、再生紙のだるま作り等
春休み子ども ワークショップ 第18回エコマルシェで開催	令和6年3月31日 （日）	—	■廃材を利用できる自由工作コーナー ■施設見学ツアー（工場棟）、クイズラリー ■環境ゲームアプリ体験（見つけて妖怪）
オープンハーベスト 屋上観察会（秋）と同時開催	令和5年10月22日 （日）	112名	「食」と環境をテーマに、循環型社会の暮らしや食の大切さを発信し、家庭ごみの減量につながるきっかけづくりを目的に開催。 ■エコなクッキングワークショップ ■生ごみ堆肥などの取組み紹介、収穫体験 - 講師:クリーンむさしのを推進する会 ■観察会講師、ワークショップ実施:成蹊小学校教諭 ■お茶碗リユース:クリーンむさしのを推進する会
アップサイクルイベント	令和6年3月2日 （土）～10日（日）	171名 （3月2日～3日の合計）	廃材に新たな価値を与えて生まれ変わらせる「アップサイクル」の取組みについて、楽しみながら理解を深めてもらうことを目的に開催。 ■パネルクイズによる取組み紹介 ■廃材を利用したモニュメントや、一輪挿しなどをつくるワークショップ ■アップサイクル作品の実物展示
事業者提案イベント参加者数 合計		8,518名	

